

### イチゴ「ゆうべに」は中間地において9月18日から9月21日を目安に定植する

中間地におけるイチゴ「ゆうべに」は、9月18日から21日定植が年内可販果収量、厳寒期(1月～2月)の可販果収量及び総可販果収量が総合的に優れる。9月15日定植は可販果1果重や年内可販果収量が劣り、9月24日定植では年内及び総可販果収量が少ない傾向となる。

農業研究センター農産園芸研究所野菜研究室 (担当者: 岩本佳美)

#### 研究のねらい

本県で育成したイチゴ「ゆうべに」は早生性の品種で頂花房の花芽分化が早く、第1次腋花房以降の花房についても連続出蕾性が高い特徴を持つ。そのため、年内収量は多いが、極早期の果実品質の低下や、過度な連続出蕾による着果負担が生育の停滞と厳寒期の収量低下の要因となっている。

そこで、収量確保や品質安定に向けて、①早期出荷の回避と果実肥大の充実、②年内の収量確保、③厳寒期の収量確保が可能となる中間地での定植時期について明らかにする。

#### 研究の成果

1. 9月15日定植では、年内(特に12月)の可販果1果重が軽く、小玉傾向となり、年内の可販果収量も少なくなる(表1、図2)。
2. 定植日が遅くなるほど頂花房と第1次腋花房間の花房間葉数が少なくなり、出蕾間隔も短くなる。また、9月24日定植は、収穫始期が遅くなり、年内及び総可販果収量が少ない傾向となる(表2、図1、図2)。
3. 9月18日から21日定植では、年次による変動はあるが、年内可販果収量及び総可販果収量が安定し、厳寒期(1月～2月)の収量が確保できる(図1、図2)。

#### 成果の活用面・留意点

1. 中間地とは年間平均気温が概ね14～16℃の地域(促成いちご「ゆうべに」土耕栽培管理指針(平成31年2月改訂版)参照)。
2. 本試験は農産園芸研究所内ハウス(合志市栄)で実施し、1区12株3反復とした。
3. 各定植日に供試した苗の花芽分化日は表3のとおり。花芽分化日は調査株5株がすべて肥厚後期以降となった日とした。
4. 供試した苗の花芽分化期は、肥料の種類や施用時期、回数を変えることで調整した。なお、9月15日定植は特異的に花芽分化を早めるため、2回目の置肥の代わりに8月中旬に液肥を施用した。また、2018年に供試した苗は花芽分化後にも液肥を施用した。
5. 育苗施肥、定植日以外の栽培管理(温度、本ほ施肥量等)は同一条件とした。
6. 花芽分化確認後から定植まで5日以上空く場合は、栽培管理指針に準じて苗に液肥を施用し、生育維持を図る。
7. 第1次腋花房の花芽分化に影響すると考えられる定植後の気温については、2018年は最低気温、最高気温ともに平年より低く、冷涼な気温であった。2020年は、最高気温が平年に比べて高く、高温傾向であった(表4)。また、2020年は、10月から2月上旬にかけての日照時間が平年に比べて123%多かった(データ省略)。

【具体的データ】 No. 961 (令和4年(2022年)6月)分類コード02-04 熊本県農林水産部

表1 可販果平均1果重

定植時期	可販果平均1果重(g)			
	11月	12月	年内累計	全栽培期間
9月15日	38.4±2.0	21.8±1.6	25.8±0.9	21.1±0.7
9月18日	43.7±1.3	26.6±2.2	28.5±1.6	22.3±1.1
9月21日	47.2±3.3	28.9±1.1	30.1±1.2	22.3±0.6
9月24日	62.5	32.9±3.1	32.6±2.9	22.0±1.8

注1) 2020年調査。

注2) 数値は可販果平均1果重±標準偏差(n=3、9月24日定植11月分はn=1)。

表2 開花特性

年次	定植日	頂花房			頂～第1次腋花房花房間葉数(枚)	第1次腋花房		頂～第1次腋花房の出蕾日数間隔(日)
		出蕾(月/日)	開花(月/日)	収穫始期(月/日)		出蕾(月/日)	開花(月/日)	
2018	9/18	10/17	10/27	11/30	3.0a	11/9	11/21	23
	9/21	10/18	10/30	11/27	2.9a	11/12	11/19	25
	9/24	10/23	11/6	12/7	2.1b	11/6	11/18	14
2020	9/15	10/12	10/22	11/16	5.0a	11/20	12/5	39
	9/18	10/15	10/27	11/24	4.7a	11/23	12/9	39
	9/21	10/19	10/30	11/24	4.1b	11/23	12/8	35
	9/24	10/23	11/5	12/3	3.6b	11/23	12/8	31

注1) 収穫始期は収穫した株の割合が20%以上になった日。

注2) 年次内の異なるアルファベット間には、Tukeyの多重検定(5%)で有意差あり(n=3)。

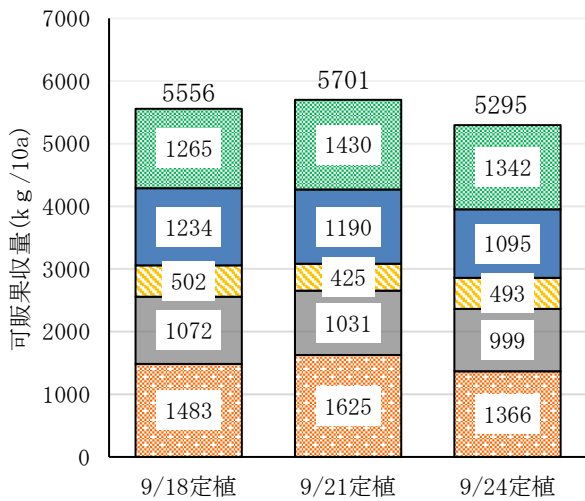


図1 月別可販果収量 (2018年)

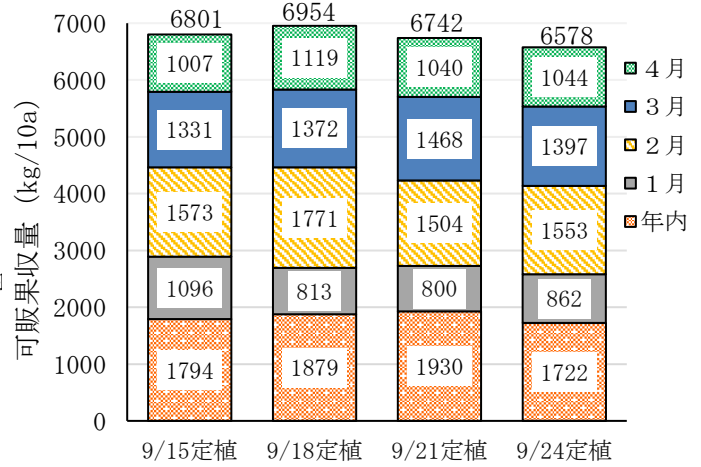


図2 月別可販果収量 (2020年)

表3 各定植日に供試した苗の花芽分化日

年次	定植日	花芽分化日
2018年	9/18	9/13
	9/21	9/13
	9/24	9/16
2020年	9/15	9/12
	9/18	9/16
	9/21	9/18
	9/24	9/22

表4 2018年及び2020年の定植後の気温

項目	年次	期間平均温度(°C)
最高気温	2018年	26.3
	2020年	28.2
	平年	27.3
最低気温	2018年	15.4
	2020年	15.4
	平年	16.1
平均気温	2018年	21.0
	2020年	21.3
	平年	21.3

注) 期間平均温度: 9月25日~10月5日のアメダス気温データを平均したもの(地点: 菊池市木柑子字上辻)。